

2025 年度（4 月～10 月）の利用状況と決算見込みについて

2025 年 12 月
あいの風とやま鉄道株式会社

I 利用状況

1 利用者数等

(1) 1 日当たりの利用者数等

2025 年4月～10 月までの7か月間の利用者数は、全体で9,265千人、1 日当たりの利用者数は、43,295人と前年比3. 4%の増加となっています。

新型コロナウイルス感染拡大前の 2019 年との比較では、0. 1%の減少となっており、コロナ前の水準に回復しています。

利用者の区分別では、定期が、前年比で2. 0%の増加（うち、通勤が3.4%増、通学が0. 8%増）となっており、2019 年比では2. 2%の減少（うち、通勤が0. 4%減、通学が3. 7%減）となっています。

定期外は、大阪・関西万博やインバウンド等の効果により、前年比で7. 2%の増加（うち、乗車券類が1. 6%減、ICカードが17. 4%増）となっており、2019 年比では5. 9%の増加（うち、乗車券類が23. 3%減、ICカードが69. 1%増）となっています。

表 1 1 日当たり利用状況等 （4 月～1 0 月）

区分	2025 年	2024 年	2019 年	2025/2024	2025/2019
利用者数（千人）	9,265	8,961	9,273	3.4%	△ 0.1%
1 日当たり（人/日）	43,295	41,877	43,331	3.4%	△ 0.1%
定期利用者	31,151	30,544	31,862	2.0%	△ 2.2%
通勤	14,160	13,692	14,218	3.4%	△ 0.4%
通学	16,991	16,852	17,644	0.8%	△ 3.7%
定期外利用者	12,144	11,333	11,469	7.2%	5.9%
乗車券類	6,020	6,117	7,847	△ 1.6%	△ 23.3%
ICカード	6,124	5,217	3,622	17.4%	69.1%

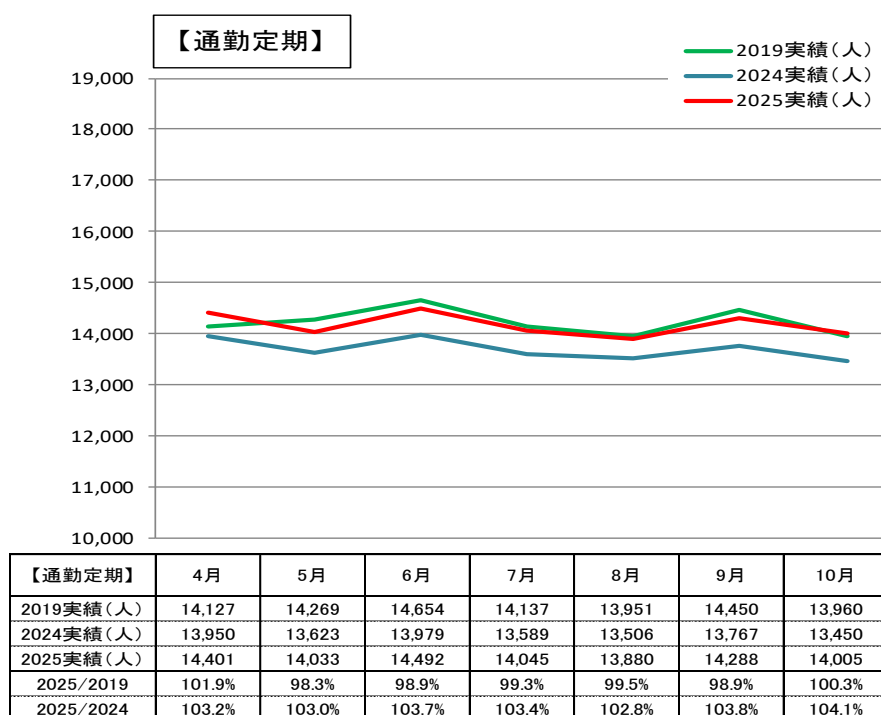
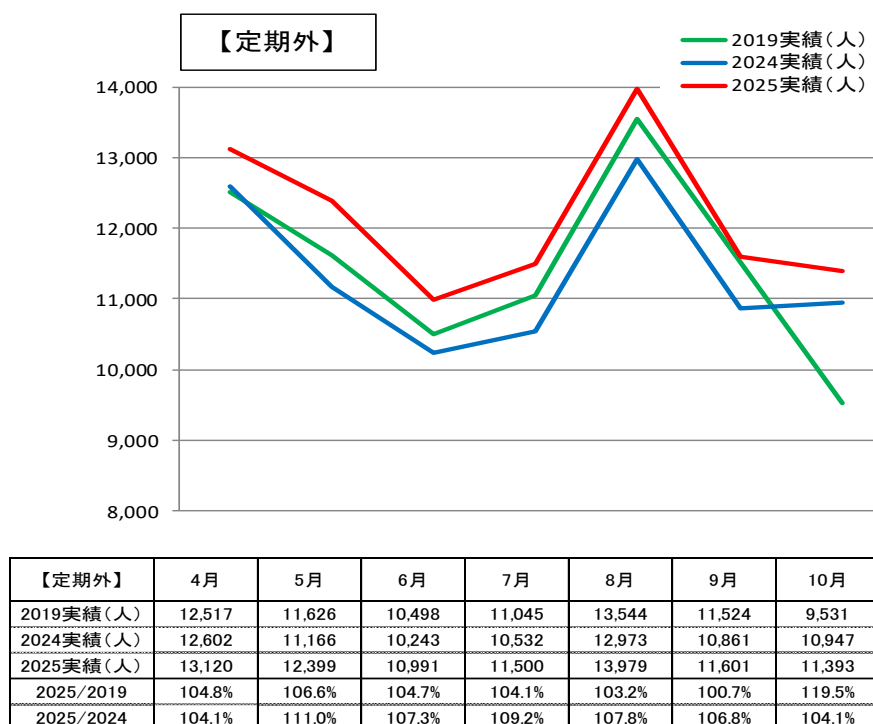
※ 端数切捨

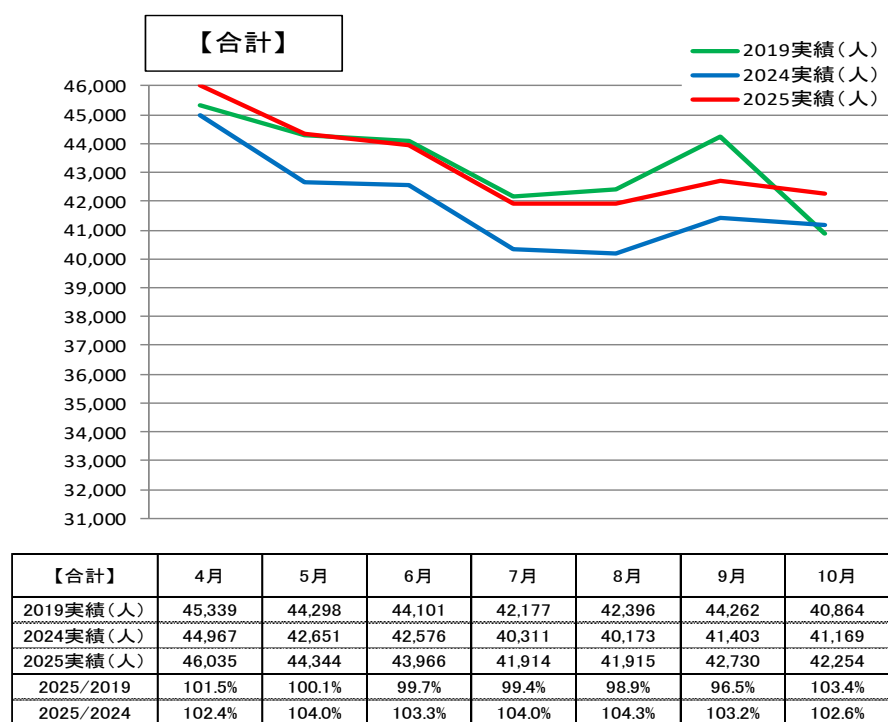
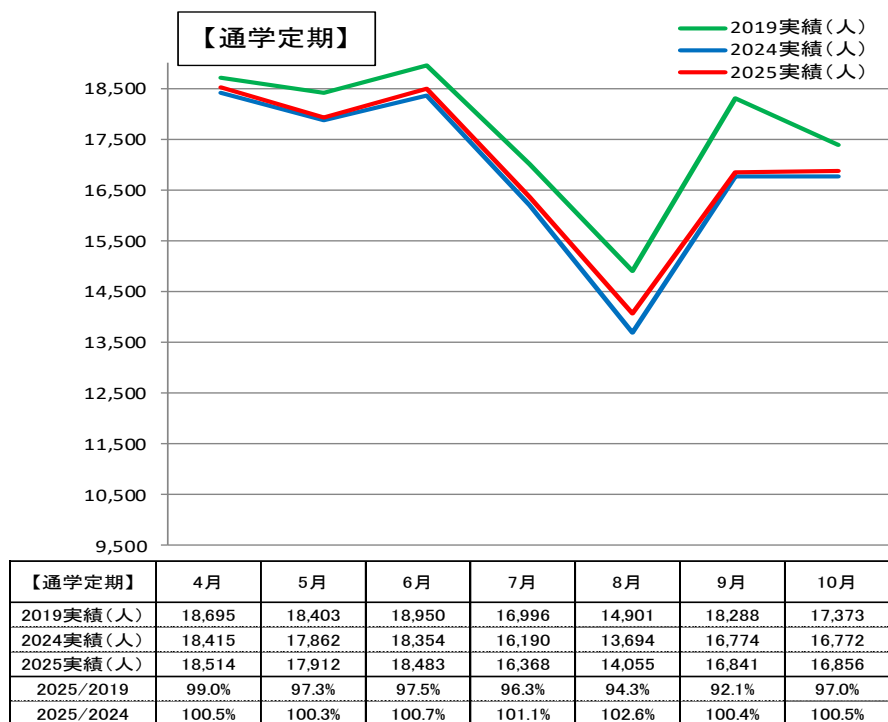
(2) 月別の利用者数

前年との比較について、定期外では、万博やインバウンド等の効果により、4%台から11%台の伸び率で推移しています。

一方、定期は、通勤で概ね3%台から4%台で推移しています。また、通学は、各月ともほぼ前年並みで推移しています。

図1 月別・区分別利用者数（4月～10月）





2 運賃収入

2025 年4月～10月の運賃収入額は1,892百万円で、前年同期比では3.7%の増加となっています。

区分別では、定期が前年比で1.7%の増加(うち、通勤が2.2%増、通学が1.0%増)となっており、2019 年比では、1.6%の増加(うち、通勤が2.7%増、通学が0.3%減)となっています。

定期外は、前年比で5.2%の増加(うち、乗車券類が4.0%減、ICカードが16.6%増)となっており、2019 年比では、9.5%の増加(うち、乗車券類が21.1%減、ICカードが81.4%増)となっています。

JR切符販売手数料収入は、前年比で2.5%の増加となっています。

表2 運賃収入(4月～10月)

(単位: 千円)

区 分			2025 年	2024 年	2019 年	2025/2024	2025/2019
運賃収益(税抜)	定期	通 勤	512,901	501,853	499,181	2.2%	2.7%
		通 学	297,659	294,855	298,617	1.0%	△ 0.3%
		計	810,561	796,708	797,798	1.7%	1.6%
	定期外	乗車券類	546,095	569,141	692,495	△ 4.0%	△ 21.1%
		ICカード	535,747	459,301	295,387	16.6%	81.4%
		計	1,081,842	1,028,443	987,882	5.2%	9.5%
	合 計		1,892,404	1,825,152	1,785,681	3.7%	6.0%
JR切符販売手数料収入			22,255	21,722	28,186	2.5%	△ 21.0%

※ 端数切捨

Ⅱ 決算見込み

○概 要

運賃収入については、今後もインバウンド等の利用者数の増加が見込まれることから、3,185 百万円程度を確保できるものと見込んでいます。

営業費は、ベースアップ等に伴う人件費の増加や諸物価高騰に伴う業務費等の増加が見込まれます。

営業損益は、390 百万円程度の赤字となるものの、最終損益では若干の黒字を見込んでいます。

1 営業収益 6,293 百万円

運賃収入は、利用者数の増加により、前年度比で 98 百万円増の 3,185 百万円程度を見込んでいます。

鉄道線路使用料収入は、貨物列車の走行実績が前年度を上回り順調であることや工事費等が増加していることから、前年度比で 164 百万円増の 2,235 百万円程度を見込んでいます。

なお、収入額については、今冬の降雪の状況等により、変動することも予想されます。

2 営業費 6,683 百万円

人件費は、ベースアップ等により前年度比で 260 百万円程度の増加が見込まれ、また、業務費については、諸物価の高騰等に伴い、前年度比で 102 百万円程度の増加が見込まれます。

修繕費は、安全確保のため、ほぼ前年並みの体制で工事等を行っていることや、資材費、労務費等の上昇に伴う工事費の増加等から、除雪費を含め前年度比で 188 百万円程度の増加を見込んでいます。

減価償却費、租税公課は、開業後の投資に伴う費用や固定資産税等が増加しています。

3 損益等

上記の他、営業外収支では、受託工事に伴う収入を見込み、また、特別利益として、県経営安定基金補助金からの費用補助59百万円のほか、施設修繕等に係る国の補助金や燃料高騰対策に係る県、市・町の補助金を 189 百万円程度見込んでいます。

この他、設備投資に係る県経営安定基金補助金等の収入を計上し、固定資産の圧縮処理等を行った後の税引前当期純利益から法人税等を控除した最終損益は、2百万円程度の黒字を見込んでいます。

○各段階での損益

営業損益	△390百万円（前年度	△94百万円）
経常損益	△246百万円（前年度	25百万円）
税引前当期純利益	11百万円（前年度	153百万円）
当期純利益	2百万円（前年度	62百万円）

2025年度決算見込み

2025/12 あいの風とやま鉄道(株)

単位 千円

科目	2024年度	2025年度			
	決算	予算	12月決算見込	対2024決算比	備考
運輸収入	3,123,964	3,222,800	3,222,800	98,836	
運賃	3,086,971	3,185,000	3,185,000	98,029	2025年4月～10月 前年比103.4%
マルス収入	36,993	37,800	37,800	807	
鉄道線路使用料収入	2,070,170	2,250,000	2,235,000	164,830	大規模修繕工事の増等 貨客比率改善0.6399(～10月) 2024年度:0.6210(年間)
関連事業等	303,629	320,162	312,499	8,870	
清算収入	490,361	493,420	518,500	28,139	
その他	6,939	15,878	4,657	△ 2,282	
【営業収益】	5,995,064	6,302,260	6,293,456	298,392	
人件費	1,900,848	2,208,400	2,161,572	260,724	ベースアップ、賞与アップ
動力費	455,511	450,000	450,000	△ 5,511	
業務費	755,477	881,690	858,171	102,694	物価上昇
清算費用	504,575	532,000	536,213	31,638	
修繕費	1,939,704	2,112,338	2,128,533	188,829	修繕工事費の増等。除雪費を含む
減価償却費	316,694	319,350	319,350	2,656	
租税公課	217,169	232,030	230,109	12,940	
【営業費】	6,089,978	6,735,808	6,683,948	593,970	
〔営業損益〕	△ 94,913	△ 433,548	△ 390,492	△ 295,579	
【営業外収益】	793,780	1,457,493	1,103,560	309,780	受託工事収入等
【営業外費用】	673,657	1,238,976	959,620	285,963	受託工事費用等
〔経常損益〕	25,209	△ 215,031	△ 246,552	△ 271,762	
【特別利益】	1,636,636	1,919,035	919,874	△ 716,762	基金運営費補助・設備補助、国施設修繕補助 燃料高騰補助等
【特別損失】(圧縮等)	1,508,334	1,675,630	661,408	△ 846,926	圧縮処理等
〔税引前当期純利益〕	153,512	28,374	11,914	△ 141,598	
法人税等	90,972	21,000	9,000	△ 81,972	
〔当期純利益〕	62,539	7,374	2,914	△ 59,625	